

2016年6月11日

第37回 DUNLOP SRIXON 社会人テニス選手権東京大会参加選手の皆様へ

大会レフェリー 佐久間 一也

ラウンドロビン方式（総当たりリーグ戦）における順位決定方法

第37回 DUNLOP SRIXON 社会人テニス選手権東京大会のルールについては、「JTA TENNIS RULE BOOK 2016」に従って行われていますが、ラウンドロビン方式における順位の決定にあたっては、下記の通りとしますので、ご承知おき下さい。

記

「JTA TENNIS RULE BOOK 2016」P.120「ラウンドロビン方式」における順位決定方式①（※）に拘わらず、この大会は、怪我による欠場でも完了試合として認めます。最終順位の決定は、「JTA TENNIS RULE BOOK 2016」P.120の②～⑦に従って、以下の通り決定します。

②勝率の高い者を上位とする。

個人戦の勝率＝勝利した試合数÷総試合数

③2者が同率になった場合は、お互いの対戦結果（直接対決）の勝者。

④3者が同率になった場合は、全試合での取得ゲーム率が高い者が上位。

取得ゲーム率＝取得したゲーム合計数÷全試合のゲーム合計数

⑤ノーショウ、または失格者の取得ゲーム数は全て0とする。

⑥けが等によるリタイアの場合は、勝者はリタイアの後、残りのゲームをすべて勝ったとしてゲーム数を記録し、敗者はリタイアするまでに取得したゲーム数を記録する。

（A対Bの8ゲームズマッチで、Bが5-2の時けがでリタイアした場合、勝者はAでスコアは8-5と記録する。）

⑦上記各項によって順位が確定出来ない場合は、くじ引きによって順位を決定する。

（※）「JTA TENNIS RULE BOOK 2016」P.120より抜粋

① 完了試合数の多いチーム（者）を上位とする。ノーショウ、ウィズドロー、リタイアをした試合は完了試合とならない。ただし、その相手チーム（者）は完了試合となる。例外としてリタイアした選手が医師の診断書または大会トレーナー・大会ドクターの診断書を当日提出した場合は完了試合とするが、リタイアした選手は同日の他の試合に出場することはできない。

詳細については、「JTA TENNIS RULE BOOK 2016」P.120をご参照下さい。

以上